

(1)～(16)までが11/19AM、(17)～(24)までが11/19PMの報告会でいただいたご質問・ご意見

1が、報告会后に専用サイトにいただいたご質問・ご意見

※報告会での質疑応答を原文のまま掲載しています。

| No. | ご質問・ご意見 | 回答 |
|-----|--|--|
| (1) | 学区分割は新しい学校が設立されたあとに、これは確定、強制なのか。5年生、6年生の場合、6年生は1年だけ新校舎へいかなければならないのか。 | 学区については、答申が出たため、皆様にお示しさせていただきましたので、最終決定ではありません。最終決定については、令和7年9月議会で学校名の承認を受け、9月もしくは10月の教育委員会で通学区区域の規則が可決になります。答申の中でいただいている通学区区域案のままだった場合には、この地区にお住いのお父さんは、原則的にその学校へ行っていただくこととなります。ただし、それ以外の事情で、他の学校を希望する場合は、つくば市では、学区外基準というものがありますので、その基準に基づいて、申請していただいた方々を審議させていただくようになります。5年生、6年生の場合については、学区が決まった後、この基準を検討するようになると思います。学区外の基準については、こちらのURLにてご確認ください。 https://www.city.tsukuba.lg.jp/kosodate/kyoiku/shitei/1004169/1001161.html |
| (2) | 建設予定地の西側道路は、春風台の自治会の要望もあって5、6m幅だと思いますが、昔中央線が入っていて、今、西側の住宅地のほうに歩道帯みたいなアスファルトのラインが引かれていると思うんですけども、歩行者の安全を確保してくださいということで自治会からつくば市に要望がでて、そのようになっているかと思いますが、現状、交通量が多いことと、私自身も通るときに、車が北から南から来ると幅が、歩道のほうに寄せないとすれ違いができないんじゃないかと思うので、今後新校舎が建設された場合、単純に今の栗原小の児童の倍になるので、単純に車両も倍になると考えられるので、前面道路から西側から東側の敷地に入ってくる、北から南から来るのは危ないと思うので、歩車分離したような車両導線を別にするような基本設計が行われているのかお伺いしたい。 | 大変朝夕に通り返が多いということで、道路に最初センターラインがあったんですが、センターラインを消して、車がスピードを出さないような対策をしてきたところなんです。今後、学校が開校するにあたって、まず第一に考えなければならないのは、当然子どもたちの安全ということですので、道路の整備も当然考えなければならない話になります。道路整備は道路部局が担当していますので、歩道の設置や、道路をどのように設置するかも含めまして道路部局と相談しながら、より安全な方向、周囲に住む皆様にもご迷惑がかからないような道路にできればと考えておりますので、今この段階でこのような形でできますということはお話しできないんですが、検討していきますので、よろしく願います。 |
| (3) | 新しい地区の春風台のそれぞれ両端、それぞれ信号がついていない交差点ですが、そちらがすでに危ないということで自治会でも話が上がっています。ただ、茨城県の中で信号の増設できるのが年に3か所までと聞いています。ここだけで2か所になると、どうしても死亡事故でも起きない限りは、優先順位が上がらないと聞いているんですけども、これについては、開校までになんとか信号がつけられるようにとか、動いてくださっているのか、進捗とかお伺いしたい。 | 新設校の通学路点検については、開校準備委員会の中で行います。開校準備委員会開催前に、市職員が通学路と想定される場所について、現場確認を行い、信号や横断歩道、カーブミラーの必要性について確認し、担当課へ依頼します。その後、開校準備委員会を通して、保護者、お子さんの目線でさらに必要性について確認をお願いします。皆様からいただいたご要望については、担当部署へ依頼し、対応していきたいと思っております。 |
| (4) | 中学校の増設なんですけれども、およその時期は見えているのか、それとも全く決まっていない状態なのか教えていただければと思います。 | 桜中学校は国指定の史跡内にありまして増改築ができないため将来的に増築や老朽化による改修が必要となった場合、(仮称)中根・金田台地区小学校用地へ移転を考えております。移転時期につきましては、建物の老朽化の状況、また、児童生徒も増えてきていることからそれを注視しまして開校を決定していきたいと思っておりますので、今この時点でいつということは申し上げられない状況です。 |
| (5) | 栗原小学校は今後複式学級になっていくということなんですけど、そのときに小規模特認校という、市内の全地区から希望する子どもたちを栗原小学校に入ること可能ということを考えているということでしたが、栗原小学校に残る子どもたちにとって、複式学級がどういうふうに受け止めていくのか、子どもの目線に立った場合、新しい小学校を選択するということは、市の方としては考えていらっしゃるのでしょうか。 | 答申の中でいただいている通学区区域案のままだった場合、どちらかの学校を選択できる地域を設定することは今のところ考えていません。指定の学校以外を希望する場合は、学区外基準で対応していくと予定です。学区外の基準については、こちらのURLにてご確認ください。 https://www.city.tsukuba.lg.jp/kosodate/kyoiku/shitei/1004169/1001161.html |

| No. | ご質問・ご意見 | 回答 |
|------|---|---|
| (6) | <p>どうしても小学校が少人数ですと、中学校に入ったときにものすごい人数の差があって、ギャップがすごい生じてしまう。少人数の学校って、みんな仲良くそれは良さがあるんですけども、中学校はその限りではなくて、縦社会だったり、そういった部分があるので、子どもたちにとっても、その辺をどうメンタル的に影響してくるのかなという部分も、柔軟に考えていただければと思います。</p> | <p>今回の報告会が最終ではありません。今回は、学区審議会の答申が出され、現在の状況を報告させていただく会となっています。今後も、保護者説明会や、地域住民説明会を開催予定ですので、いろいろな意見を頂戴したいと思います。</p> <p>小規模校から中学校に行くと、3クラス4クラス大きい学校になってと本当にご心配なところだと思います。市内の学校にも、すでに小さい学校から中規模、大規模校の中学校に進級するというお子さんも多々おられます。やはり教育として大事なのは、先ほど教育長も申し上げたように一人ひとりの幸せを大切にすることがつくば市の教育大綱にある一番の目標ですので、そこに主眼を置いて我々の教育というのを進めたいと思います。中学校に上がっても、例えばそれが小規模だろうが、大規模だろうが、一人ひとりを大切にする、一人ひとりの学びに応じた支援を学校として行っていくということを我々は努力していかなければならないと思います。こういった対応を一生懸命させていただいて、一人ひとりを大切にした教育を進めていきたいと思っておりますので、ご理解をよろしくお願したいと思います。</p> <p>学区審議会においては栗原小をぜひ残していただきたいという、そういうご意見があって、こういう答申が出たというふうには私は受け止めております。ですので、栗原小があるという前提で、私たちは考えているわけです。栗原小についてできるだけご心配な点を解消できて、良い学校にするためにはどうしたら良いだろうかとこのところを今考えているわけではありません。かつては小規模から大規模な中学校に進級して全くそこで小と中が切れているという状況の中であったと思うんですが、今は9年間桜中学校区の学校の全てがいろんなことを一緒にやりましょうという一貫教育をやっているということで、切れ目をなくしています。一番大きなつくば市全体の考えとしてありますし、小学校同士の交流というの、先程申し上げたICTの活用で、実際の行事の交流ということも含めて、栗原小学校が1校だけで運営されるということがないようにすることは、今も考えております。保護者の皆様の意見も聞きながら、一番良いあり方をこれから開校までに考えていくということで、私たちは努力したいと思っております。ですので、率直なご意見、こういうことが心配ですという事はお伝えいただければとありがたいなとそんなふうに思います。今日でなかなか結論が出る問題ではありませんので、今後ともよろしくお願したいと思います。</p> |
| (7) | <p>現状では、就学する学校を選べないということなのでこれはお願になります。テクノパーク桜ですとか上野地区が新設校に移動するというのであれば、栗原地区も希望すれば、新設校に通えるように出来るように検討していただけないでしょうか。栗原地区の廃校も含めて考えても良いのではないかなと思うところもあります。やはり自分の子どもが10人以下の人数の単学級で学ぶですとか、複式学級になるという事は抵抗があります。栗原地区も過疎化ですとか進んでいく、出ていかれてしまう新しい若い世帯も出てくるのではないかなと不安にもなります。今後の栗原地区のことも考えますと、この形が本当に望ましいのかなという不安もあります。よろしくご検討のほどお願いいたします。</p> | <p>ご意見としていただきますので、我々も今後も栗原地区の保護者の方、地域の方々皆様のご意見をお伺いしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。</p> |
| (8) | <p>学校の敷地内、学校の近くに学童を作っただけなのかということと、希望者が多かった場合に、どこかの学童に仕事が終わるまで見ていただける環境を整えることができるのかということをお伺いしたいです。</p> | <p>児童クラブ、学童クラブという話かと思いますが、当然学校ができますとそういった心配もあるかと思いますが、学童クラブは少なくとも作る方向で動いておりますので、それが具体的なことがわかってきましたらまたお知らせをしたいと思っております。</p> |
| (9) | <p>栗原小学校を残すということが大前提になっていますけれども、栗原地区の人たちを新設校のほうに通学できるように、例えばスクールバスを出していただけて通学できるような案というのは全く出ていないのでしょうか。案が出ていないのであれば、そういったこともぜひ考えていただきたいなと思います。</p> | <p>現行、スクールバスを出しているところは、秀峰筑波の地区になります。今後については、皆様のご意見をお伺いして検討していければと思います。</p> |
| (10) | <p>複式学級というのを栗原小学校で行うようですけども、今現在つくば市内で複式学級として行っている学校があるのでしょうか。あるのであれば、その学校の利点なども教えていただきたいと思っております。</p> | <p>市内のほかに複式の学級があるかというご質問なんですが、かつてはあったんですけども、現在は市内で複式学級をとっている学校はございません。</p> |

| No. | ご質問・ご意見 | 回答 |
|------|--|---|
| (11) | <p>中学校を併設する、老朽化とか人数によって進めていく可能性があるという事ですが、中学校も部活であるとか、小学校のお迎えとか遠いと送るのが自分たちの頃と違って普通になってきている。また登校班に参加せずに常に車で送ってらっしゃる方もいらっしゃるの、周りの交通状況であるとか、中学校になるとかなりの規模になるので、もし併設すると想定されているということであれば、建物自体の大きさであるとか、そういう状況であるとか、先のことも含めて考えていただければなと思っています。</p> | <p>限りある駐車場のの中で送り迎えを行っていくということだと思えますけれども、新たに建てている新設校につきましても、やはりその辺の駐車場の問題は意見として出ていまして、今後設計にあたりまして新しい学校につきましても、そういった形で駐車場の件も考えていきたいと思えます。既存の学校につきましても、今ある現在の敷地ということになりますが、これも新しい学校と並行しまして、きちんと修繕とか運営を行っていきたく思えますので、駐車場に限らず、そういったご意見は頂戴しまして、より良い環境作りに努めていきたいと思えますのでどうぞご理解よろしくお願ひします。</p> |
| (12) | <p>今示された教室数の大きな増築も見据えて設計していくという話だったと思えますけれども、当然現状の人口よりはこれからあの地域かなり増えるだろうと思えますけれども、想定している設計で開校時の大きさ最大規模、その後さらに児童が増えた場合にどこまで大きくできるのか、1学年何クラス位まで大きくできるのかという想定で設計しているのかというところをお伺ひしたい</p> | <p>整備教室につきましても、あくまでも現在、設計の段階で予定ですがけれども、普通教室で25クラス程度、特別支援で3クラス程度を予定しております。特別教室につきましても、理科室、音楽室、図工室、家庭科室、コンピューター室、図書室、相談室等々を予定しておりますが、またその他に多目的室を各学年に1クラス1教室程度整備する予定でおりますので、25クラスプラス6クラスで対応できると考えております。設計当初から将来の増築を考慮した配置計画として申し上げましたが、それで将来的には対応可能と考えておりますが、将来的な増築の規模ですね、これは児童生徒の推移を見据えまして、検討していければと考えております。子どもが増えた部分については対応可能ということで進めさせていただきたいと思えます。</p> |
| (13) | <p>校舎について、断熱の性能とか、日射遮蔽とか、要するに、将来的にゼロエネルギー化まで考慮された設計になっているかどうかというところをお伺ひしたい</p> | <p>新しく建てている学校も他にございまして、環境問題、これは充分重視しておりますので、今後の設計段階におきまして、ゼロカーボンというものも視野に入れまして、設計を進めていきたいと思えます。ただ、今この時点で何を取り入れるかということをお願いはいたしませんけれども、当然環境に配慮した建物になるかと思えます。今作っております新設校等ではガラス窓とかも断熱性の高いものとか、そういったものを使っておりまして、ゼブという風な最近お耳にすることもあるかと思えますが、そのようなことも検討の一つに取り入れながら、環境に配慮したというところで行っていきたく思えます。</p> |
| (14) | <p>栗原小学校が新しい学校が開校したと同時に、すぐく人数が少なくなってしまうというところで、特色を出した小学校づくりということで、他の校区外の子も受け入れるような小学校になるかもしれないという話を聞いた中で、今現在つくば市の中にそういう小学校は無いのかなと思えますので、他市町村の例が書いてあったかと思えますが、実際にそういった特色を出した小学校作りをしていた市町村の小学校は、他の校区外から来ている児童がどれくらい増えているかというのがわかればお聞きしたい。</p> | <p>つくば市では先ほど説明させていただいた小規模特認校によって学区を広げてという学校は今のところはございません。小規模特認校にすることで、いわゆる特定の学区以外からの子どもを通学可能ということで、一定数の子どもを確保ということも見込まれるかなとは思いますが、他の市町村では、実際に小規模特認校ということで、児童生徒数を確保するということを取り組んでいる学校もございまして、すみません、私たち調査不足で大変申し訳なかったんですけれども、実際に、どの程度、例えば10%増えたとか何人くらい増えたといった具体的な数字までは分かっていないんですが、よく我々もご紹介をいたしたく思えますけれども、特色ある教育ができるので、その地域にあつた子どもたちに合わせた教育ができるというところの話は聞いております。また、単学級にしかならない、もっと小さい学級にしかならないところが、学年2学級に増えたという学校もあるというふうには認識しております。</p> |
| (15) | <p>栗原小が小規模特認校になって、新たなカリキュラムやいろんなことができるということで、栗原小も何をやるか、カリキュラムとかもう既に考えられているのか教えてください。</p> | <p>小規模特認校にした場合、どういった教育を行うかといったご質問かなと思えますが、まだ実際に、具体的にどのようなことを行うかというところまでは考えていない状況です。この後、実際には3年、4年という年月がありますので、その中で、もう一回よく地域を確認した上で、どういった教育が子どもたちに一番ふさわしいかということを検討していかなければならないと思えます。よろしくお願ひします。小規模特認校に必ずすると決まっているわけではないことも含めてということによろしくお願ひします。</p> |
| (16) | <p>つくば市内の北の方の小中ですとか、秀峰筑波では、以前小規模校を統合して廃校したと思えますが、今回栗原を残すという方針になった背景をお伺ひできればと思えます。</p> | <p>開発区域内に学校用地があるので、開発区域内の通学区域案を学区審議会へお示しました。審議会の中では、委員さんから保護者の皆様アンケートをとっていただき、ご意見を承って、通学区域について話し合っていました。その後の追加については、各委員さんがそれぞれの地域のご意見や保護者の方のご意見を踏まえて、いろんな地区を出していただきました。栗原小につきましても、栗原地区の方々から、近いから、安全に通えるからそのまま栗原小を残してほしいということもありましたので、今回栗原小を残してある形になりました。</p> |

| No. | ご質問・ご意見 | 回答 |
|------|---|--|
| (17) | <p>新しい学校の学区が示されていましたが、そこに通われている子どもたちは、基本的にそちらに行くことになるのか、あるいは選択という形になるのでしょうか。在校生とかこれから入ってくる子とか混じって家族構成されている家もありますので、その辺決まっていることがあれば教えてください。</p> | <p>学区については、みなさんにお示しさせていただいた答申で最終決定というわけではありません。最終決定の時期については、令和7年9月議会で学校名の承認を受け、9月もしくは10月に、教育委員会で、通学区の規則が可決され、一番最後の決定になります。答申の通学区が案ですので、このままでいった場合は、ここにお住いのお子さんは、原則的にその学校へ行っていたこととなります。ただし、それ以外の事情で、他の学校を希望する場合には、つくば市では、学区外基準というものがありますので、その基準に基づいて、申請していただいた方を審議させていただく形にはなりません。学区が決まった後、基準を検討するようになると思います。新しい学校の通学区がこちらで決まった場合には、学校を選択できる地域を設けるというのは考えておりませんので、指定の学校に行ってくださいという形になります。また、保護者説明会は、規則、通学区が決まる前になると思いますので、その段階では基準がこうなりますという事はお伝えできないかと思っております。</p> |
| (18) | <p>栗原小学校を予定している方は、非常に不安な気持ちがあるのではないかなと思います。それはやはり複式学級ということで、非常に小さな学校、確かに小規模校ならではのということもあるかと思うんですけども、やはり現代の教育というのは、なんといっても表現力とかコミュニケーション力とか、いわゆる社会性ですか。そういうものの対応というのが非常に重要視されるのではないかなと思います。そういう場合に子ども同士の活動、あるいは先生と子ども、ですから地域の教育力ということではなくて、学校内の子ども相互の関わり合い、そういう中で、社会性は培われていくのではないかなと思います。そういう意味では、複式学級という学校は非常に不安であるという事はやはり皆さんも共通した思いだろうと思います。特につくば市は、これまで私の記憶では、小規模校をなくす小中一貫だったと思うんですけども、特につくば市さんの方では、いくつかの学校が統廃合されて小中一貫ということがなされてきたと思うんです。大形小とか筑波第一小学校とか廃校ということで、それもやはり小規模校ならではの特色はある学校だったと思うんですけども、それ以上にやはり現代社会に必要な社会性とか、いろいろそういう問題を加味して小中一貫ということで進んでいったのかなと思うんです。ですから、そういうつくば市の歩みからすると、新たに複式学級の学校を作る残すというのは、やはりちょっとこれまでの考え方からするとどうなのかなと思うんです。それから栗原地区の人たちの意向を受けて、学区審議会で話されたと思うんです。そういう意向を受けて、こういう形の答申が出てきたのかなと思うんですけども、やはりその時点では栗原地区の人たちにとって、小学校残してほしいというのは、やはり長い伝統がある学校ですから、誰もが共通して思うところだと思えます。ただこうした数字を見て、複式というような数字を見て、果たして新たに栗原の人たちが、それでも小学校を残したいと思うかどうか、それはまた別問題かと思うんです。これまでは残したいと思う気持ちとこういう数字を見て、じゃあどうするのか。子どもたちの将来を見たときどうするのかというときには、また別の意向というか、考えが出てくるかなと思います。そういう意味では、本来でしたら今度新たに入られる保護者の方に直接アンケート、数字をご覧いただきながらアンケートとってみるとかね。そういうことも必要になってくるのではないかなと思います。それからもう一つ。個人的なあれなんですけれども、そうすると、子どもを連れて家を離れて別に構えようかなと、若い人が地域から離れていく可能性もありますよね。やっぱり自分たちの子どもをどう教育するかっていうことを考えたときに、ここじゃなくて別なところに行こうかなということになる可能性も出てくるかなと思います。ですから、様々なまだ検討していただかなければならない問題があると思うので、ぜひ今後とも皆さんの情報を公開してもらって、地域の方の声なども充分反映する形で学校建設に当たっていただければありがたいなと思います。</p> | <p>この答申は、学区審議会で区長さんはじめ地域の方のご意見、保護者代表の方は各学校で保護者アンケートをとっていただき、それらをもとに今回答申が作られ、皆さんに報告させていただいています。この中で、栗原小学校については、近くの方は学校に安全に行けるから残して欲しいというご意見がありました。ご意見があったときに、この通学区案で何人になるかということもお示しさせていただいて、その時に一年生が1人になりますよというお話もさせていただいています。今回は、データがより新しくなった部分もあり、審議会のデータを見ていた人がいらっしやるのといらっしやらないのがありますし、今回は報告という形で、改めて見ていただいて、共通認識を持っていたきたい。スケジュールの中でも説明のあった通り、今後も保護者説明会、地域住民説明会をやっていきますので、その中で皆さんのご意見をいただきたいと思っております。また、答申に従って学区を決めた場合は、小規模校になってしまうということで、できるだけ小規模校のデメリットではなく、メリットを最大限に生かすことを考えると、こんなことが考えられるということもまず提案させていただいたというところなんです。小規模校でありながらも、もう少し人数を増やしていったほうがよいということも考えられるため、小規模特認校という考え方も活用できるのではないかと提案させていただきました。皆さんの意見が、小規模校のまま残したいとまとまるのか、それとも小規模特認校として少し人数を増やしながらか残したいということになるのか、それとも栗原小学校は人が少ないから、みんなで新しい方の学校に行きたいということになるのか。それは、これから皆さんのご意見を承りながら、決定していきたいということです。今日の案が最終決定ではありませんので、これから皆さんの意見を聞きながらやっていきたいと思っております。ただ、ご心配いただいたように、社会性ということについては、小規模校であっても、それが可能になるような教育の工夫をするつもりであり、そういう準備はきちんとありますので、これから皆さんと共有して最終的な案を作っていければと思います。</p> |

| No. | ご質問・ご意見 | 回答 |
|------|---|---|
| (19) | <p>将来的には桜中も移転になるというところで、学校の教室数であったりとか、施設の数であったり、どうい施設が作られるのか、そこら辺のスペックというのはいつぐらいに確定するのでしょうか。例えば、生徒数が非常に多くて、それぞれの遊具が足りないとか先生の目が行き届かないとか、そういうことも心配なので、そういうことであれば、今栗原に就学しているのであれば、栗原のほうに残ったほうがいいよねとなるかもしれないですし、そこら辺も1つの学校を選ぶ要素なのかなと思うんですけども、そこら辺はいつぐらいにお示しいただけるのかということをお聞きしたい。</p> | <p>新しい学校につきましては、設計を行っているような状況です。令和4年度、5年度で基本・実施設計を行いますので、その中で検討していくところとなりますが、当初計画している規模については、普通教室で25クラス程度、特別支援教室で3クラス、その他特別教室というところで、理科室とか音楽室、図工室といったものを考えております。またその他に多目的室を各学年に1教室作りますので、もし子どもが増えた場合にも対応できるという形になります。また、配置計画には、桜中の移転スペースも入っています。子どもたちが増えても大丈夫なように増築スペースという形で当初計画しておりますので、今後子どもたちが増えてくるということでも、ここで対応できると考えております。</p> <p>桜中の今後の対応については、桜中もご存知の通り国指定の史跡内にありまして、増改築が難しいということもありまして、将来的に増築や老朽化による改築が必要になった場合、その場合には、中根・金田台区の学校への移転を考えております。時期が気になるところでございますけれども、今時点では未定です。今後生徒が増えてきてということも考えられますので、建物の老朽化の状況や児童推計を注視しまして、今後設計していきたいと考えております。</p> |
| (20) | <p>既存の小学校には児童館が併設されていると思うんですけども、新しい学校には児童館は設置されるのでしょうかということと、新しい地区の流星台とかさくらの森って公民館みたいなものがないんで、地区交流センターみたいなものが併設されるのか、計画があれば教えていただきたい。</p> | <p>児童クラブですが、土地の建設予定地の用途制限もございますので、その辺は敷地内に建設可能かどうかも含めまして、児童クラブ担当部署と検討して参りますが、当然お子さんがいらっしゃれば児童クラブが必要だと考えておりますので。あともう1つ、交流センターですね。学校の開放スペース、そういったものがあるのかということなんですから、地域に開かれた学校づくりということを目指しております。令和5年4月に開校する研究学園小学校と香取台小学校についても図書室や家庭科室等の特別教室につきましても、開放可能な配置計画にしております。同様に中根・金田台区の小学校につきましても、開放可能な配置計画ということを設計の中で検討していきたいと思っております。</p> |
| (21) | <p>栗原地区のことが非常に懸念されます。これまで学校残したい残したくない希望を聞かれて話し合いをされたということですが、先程の方と同じように、このデータを見せたときにかなり小規模になりますよと言って、いいですかということになるのではと思うんですけども、これまで代案というか、当然どこかの学校に通わなければいけないんですけども、その代案を示されたことがありますかということをお聞きしたいです。例えば新設校に吸収されますとかあるでしょうけど、秀峰筑波もバス出ますから、そういったところにバスで行くとか隣の学校に併合するとかいろんな案を検討したかということを確認したいです。</p> | <p>審議会の中で答申が出ましたので、それに対して我々から少なくなるから、こうしますという案を出したわけではありません。新しい学校を作るにあたって、まず学区案としていただきたいので、審議会でも話し合いをして答申をもらった、その結果として栗原小を残してもらいたいというお話をいただいた段階です。審議会の中で、令和10年ごろに新一年生が1人だけになる、というお話をさせていただいて答申をいただきました。審議会では、保護者アンケートもとっていただいて、近くだから残して欲しい、どうしていいかわからないという方もいました。新しい学校にしてという方はいらっしゃらなかったです。午前中の回では、複式になるようなことであれば、学校としては統合するとか選ぶとか選択肢を考えてほしいというご意見を頂きました。審議会でも審議していただいているときの意見と午前中の方の意見と少し違ってくる部分もあります。それは、お一人の方がそういう意見もありますので、皆さんどうい意見があるのかを聞きながら検討していかなければならないと思っております。学校は、地域の方も関わっているんで、地域の方からも意見をいただきたいと思っています。</p> |
| (22) | <p>諮問の段階で春風台、流星台、さくらの森が通学区区域案とありますが、答申には、上野、桜1丁目などが記載されています。それは審議会の中で意見が出て、新たに追加になっていったという感じなのでしょうか。</p> | <p>学区審議会でも審議していただく際に、最初に事務局として、開発地域に学校用地があるため、開発地域が通学区区域という素案をお出ししました。各委員さんに地域に持ち帰って、地域の方の意見を聞いていただいたり、PTAさんには保護者アンケートをとっていただき、各委員さんが意見を持ち寄っていたいただき、栗原地区の方は残して欲しいから栗原地区を入れないでくださいとか、桜1丁目から3丁目の方は近くに学校ができると思っていただけから家を買ったので、新しい学校の学区に入れてくださいとか、委員さんが自分の意見だけでなく、皆さんの意見を取りまとめてきていただき、話し合い、これらの地域が増えていきました。我々事務局がこうしてくださいといったわけではなく、委員さんそれぞれの意見があり話し合いの上、追加になりました。</p> |

| No. | ご質問・ご意見 | 回答 |
|------|--|--|
| (23) | <p>今の建設予定地の所の道が狭くて、ガードレールのほうも、東側にちよつとある位だと思うので、その通学を600人を超えるような学校であれば、ちゃんとした通学路を作ってほしいという事と、125号線に伸びる道に信号とか、そういったところもちゃんと整備を合わせて、学校を作るにあたって、つくば市が担当かどうかかわかんないですけども、そこら辺と連携して、子どもたちの通学路を安全に確保できるような形をとっていただきたい。</p> | <p>子どもたちの安全な登下校が最重要と考えておりますので、学校用地の西側の通りにつきまして、以前センターラインのある整備された道路でしたが、ショートカットする車が多いということもあり、今はセンターラインを消していることも確認しています。今後、子どもたちが通うことになると、子どもたちと車の接触といったことも大変心配なことです。子どもたちの安全第一に考え、歩道や道路の整備を道路部局である建設部と調整を図りながら、安全な通学路の確保に努めていきたいと考えております。信号につきましては、来年4月に新しい学校が開校しますが、開校に合わせ、信号の設置といったことも警察本部と調整し、要望を出して設置に向けて進んでいるという状況もあります。こちらの新設校につきましても、同様に対応していきたいと思っております。</p> |
| (24) | <p>つくば市って住んでいる所と住んでない所の差がすごく激しいと思うんです。今回作るところも、住民が増えてきてることだと思うんですけど、先ほど25クラス想定しているということだったと思うんですが、そうすると大体一学年4クラス位。データを見るだけでもおそらく増えていく、そうするとそういうことを考えると、何クラス位までは面積的にいけるのか。そういったものはあるのでしょうか。この先の話かもしれないんですけど、つくば市の研究学園って、春日学園ができて溢れちゃって学園の森ができて、学園の森が溢れちゃって、研究学園小学校中学校ができて、香取台小もそうだと思うんですけど、将来的に溢れたときに、この学区はまだ作ってないと思うんですけど、この先にも計画とかってまだ出てきたりする可能性があるんでしょうか。情報の伝え方ですけど、なかなかその情報も拾い切れない部分もあって、たまたまホームページで見たので今日来てみたんですけど、地域の住民の方にもうちよつと伝える、自分も今回情報を仕入れきれてなかったんですけど、何か方法がないのかなと、ホームページと広報つくばと、いろいろな地域の交流センターとかあると思うんですけど、何か良い方法が今後あるんでしょうかということをお聞きしたい。</p> | <p>(仮称)中根・金田台地区小学校については、令和10年まで人数が増えていきます。今後も増えていくと思います。ただ増えたとしても、研究学園とか学園の森のように、急激に多くはならないのではないかなと思っていますので、この学校が開校後、さらに新しい学校を作るのかという事については想定していません。情報の発信についてですが、今回はホームページ、市報でお知らせさせていただきました。学校から保護者さんにもお知らせさせていただいています。区会回覧を利用できる区会がない新しい地区については、ツイッター等を含めているいろいろなメディアで、情報をお伝えできるような方法を考えたいと思っています。</p> |

| No. | ご質問・ご意見 | 回答 |
|-----|--|---|
| 1 | <p>今回の新設小学校の学区については、当初は春風台・流星台・さくらの森が対象であり、桜等は学区外という内容での諮問だったが、それに対して学区審議会で議論が行われ、当初の学区案からは大きく変更となった答申となったと認識しております。</p> <p>学区審議会での議論の内容を拝見しますと、子供の通学時間だけではなく、不動産業者が「春風台に小学校ができる」ことを宣伝していたことや学区外になることによる資産価値の減少なども議論されておりますが、これらについては今回の学区の決定に関係する問題なのかは正直疑問です。</p> <p>そもそもの地区が学区内になるかどうかについては、資料にもあるとおり、今後のしかるべき場所での審議で決まることであり、不動産業者が決めるものではありません。</p> <p>それに関わらず、そういった背景まで考慮したうえで桜地区等を学区内に入れ、栗原小学校に残される学区の子供たちが小規模学校に通うことになり、不利益を被ることになってしまうというの、特定の地区を優遇するために、一部の子供を犠牲にしているようにしか見えません。</p> <p>桜地区等を春風台の学区内に入れるのであれば、栗原小学校の学区になってしまう地区の子供達にも春風台の学区に通う選択肢を設けるべきですし、場合によってはスクールバスも検討すべきではないでしょうか。それが難しいようであれば、当初の諮問のとおり学区とすべきではないでしょうか。</p> <p>また、子供達の通学時間等に配慮する必要があるのであれば、学区は諮問のとおりとした状態で、桜等の区域の子達は学区外申請をして一定の条件を満たした場合にのみ春風台の小学校への通学を認めるというやり方もあるのでは。</p> | <p>令和3年度に開催されたつくば市学区審議会において、事務局からお示した通学区域案をもとに、審議会各委員においてアンケート等を実施し、関係する地域、保護者の皆様からのご意見をいただき、審議し、答申が出されました。今後、令和8年4月の開校に向け、令和7年秋ごろまでに通学区域を最終決定するため、地域及び保護者の皆様のご意見を保護者説明会、地域住民説明会等を開催しお伺いしてまいります。現段階では、学校を選択できる地域やスクールバスについては検討されておりましたが、今後ご意見を伺いながら検討してまいります。</p> <p>貴重なご意見ありがとうございました。</p> |

| 質問内容に関する分類 | 主な回答担当課 |
|-------------------------------|---------|
| 通学区域、学区に関する事／通学方法、通学路に関する事 | 学務課 |
| 学校施設（校舎、体育館、教室、駐車場等）に関する事／その他 | 教育施設課 |
| 学童クラブ建設に関する事 | 教育施設課 |
| 新設校開校後の栗原小学校に関する事 | 学び推進課 |
| 市民の方への情報発信に関する事 | 学務課 |